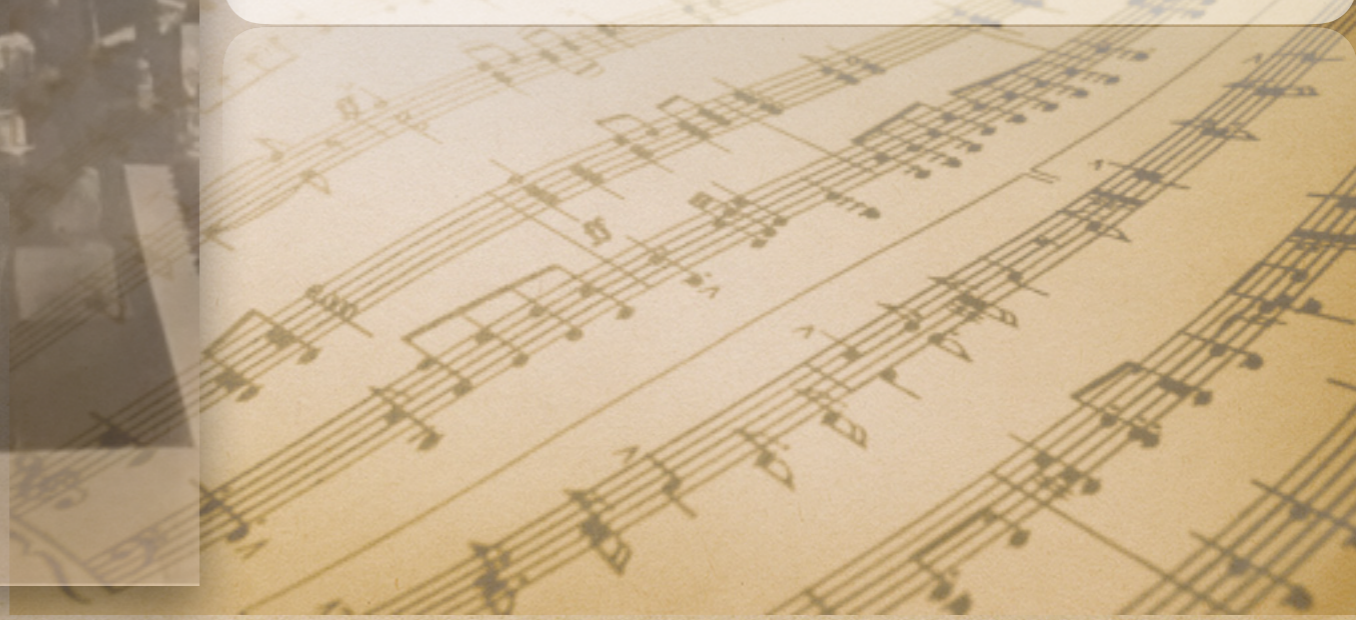


# 平吉毅州

## メモリアル

～氏の足跡をたどる～



# 平吉毅州(ひらよしたけくに)

- ◆ クラシック音楽の作曲家
- ◆ 管弦楽曲、ピアノ曲、合唱曲、独唱曲など、子ども向けの作品を数多く残す
- ◆ 代表曲：
  - 「気球にのってどこまでも」
  - 「管弦楽のためのコンポジション」
  - 「虹のリズム（ピアノ曲集）」



# 平吉毅州ヒストリー

- ◆ 1936年、兵庫県神戸市で誕生
- ◆ 1961年、東京藝術大学 音楽学部作曲科 卒業  
在学中は作曲家長谷川良夫、伊熊良穂に師事
- ◆ 1967年、東京藝術大学大学院 修了



# 平吉毅州ヒストリー

- ◆ 大学卒業後、「管弦楽のためのコンポジション」を発表し、第31回日本音楽コンクールにて第1位入賞
- ◆ 1969年、「交響変奏曲」では尾高賞（日本の現代音楽の作曲家に与えられる作曲賞）を受賞



# 平吉毅州ヒストリー

- ◆ 藝術大学非常勤講師、桐朋学園大学教授、沖縄県立芸術大学教授を歴任し、指導者としても活躍
- ◆ 合唱曲を数多く作曲したほか、晩年は子どものためのピアノ曲を数多く生み出す
- ◆ 1998年、胃がんのため逝去



# 主な作品

## <管弦楽曲>

- ◆ 交響変奏曲
- ◆ 管弦楽のためのコンポジション



## <ピアノ曲（作品集）>

- ◆ 虹のリズム
- ◆ 南の風



## <合唱曲>

- ◆ 気球にのってどこまでも
- ◆ ひとつの朝
- ◆ 海の不思議



# 虹のリズム

こどものためのピアノ曲集

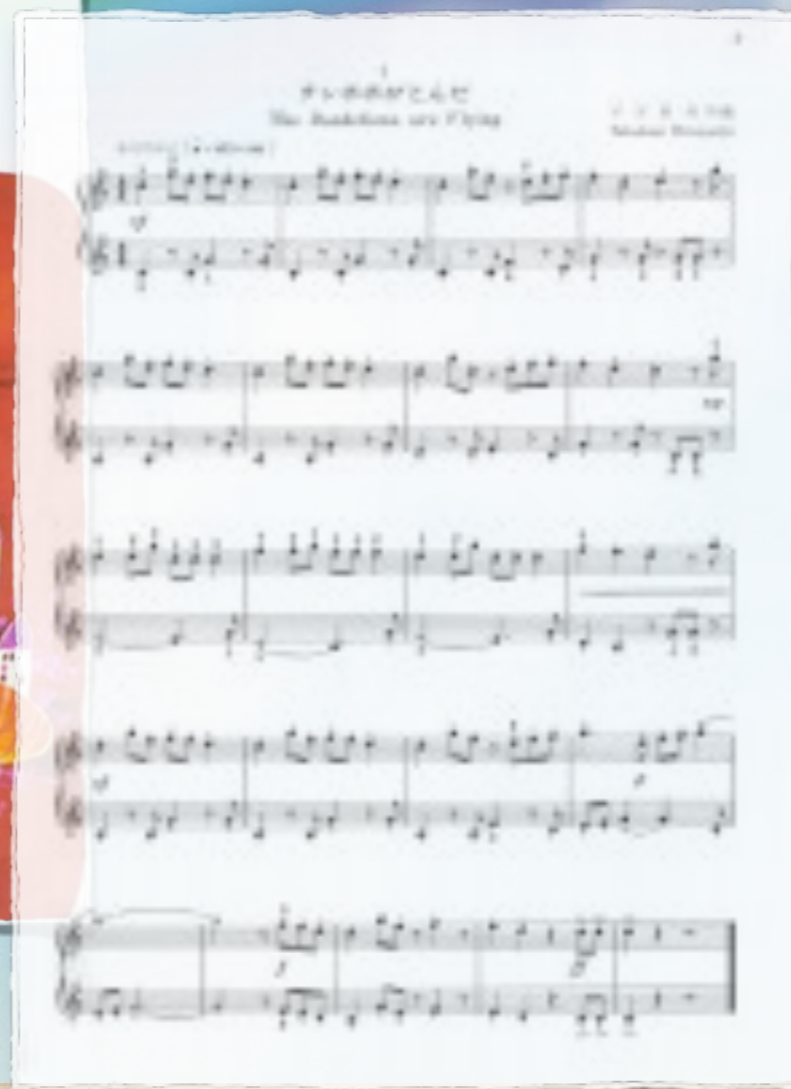


## <収録曲>

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1. タンポポがとんだ    | 13. 子守歌           |
| 2. 思い出         | 14. 海の伝説          |
| 3. バレリーナの悲しみ   | 15. あやつり人形のひとり芝居  |
| 4. 錆びたブランコ     | 16. ススキの葬列        |
| 5. 波のお話        | 17. みつけられたいたずら    |
| 6. ささぶねの航海     | 18. 潮風のサンバ        |
| 7. はるかなるアフリカ   | 19. 夏の夜のハバネラ      |
| 8. 踏まれた猫の逆襲    | 20. 五月の風          |
| 9. ふたりだけのお話    | 21. 夕映の湖          |
| 10. 奇妙な追っかけっこ  | 22. 秋の光に落葉が舞って    |
| 11. 蛙の散歩       | 23. はつかねずみの運動会    |
| 12. ひとりぼっちのワルツ | 24. 真夜中の火祭        |
|                | 25. チューリップのラインダンス |

# 虹のリズム

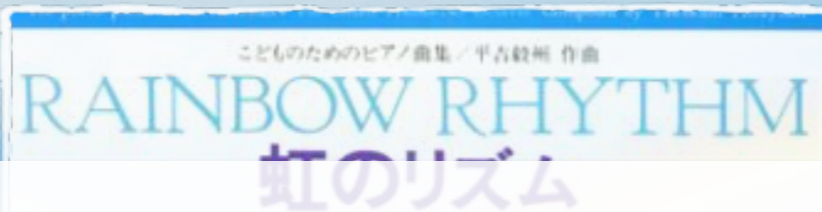
こどものためのピアノ曲集





# 虹のリズム

こどものためのピアノ曲集

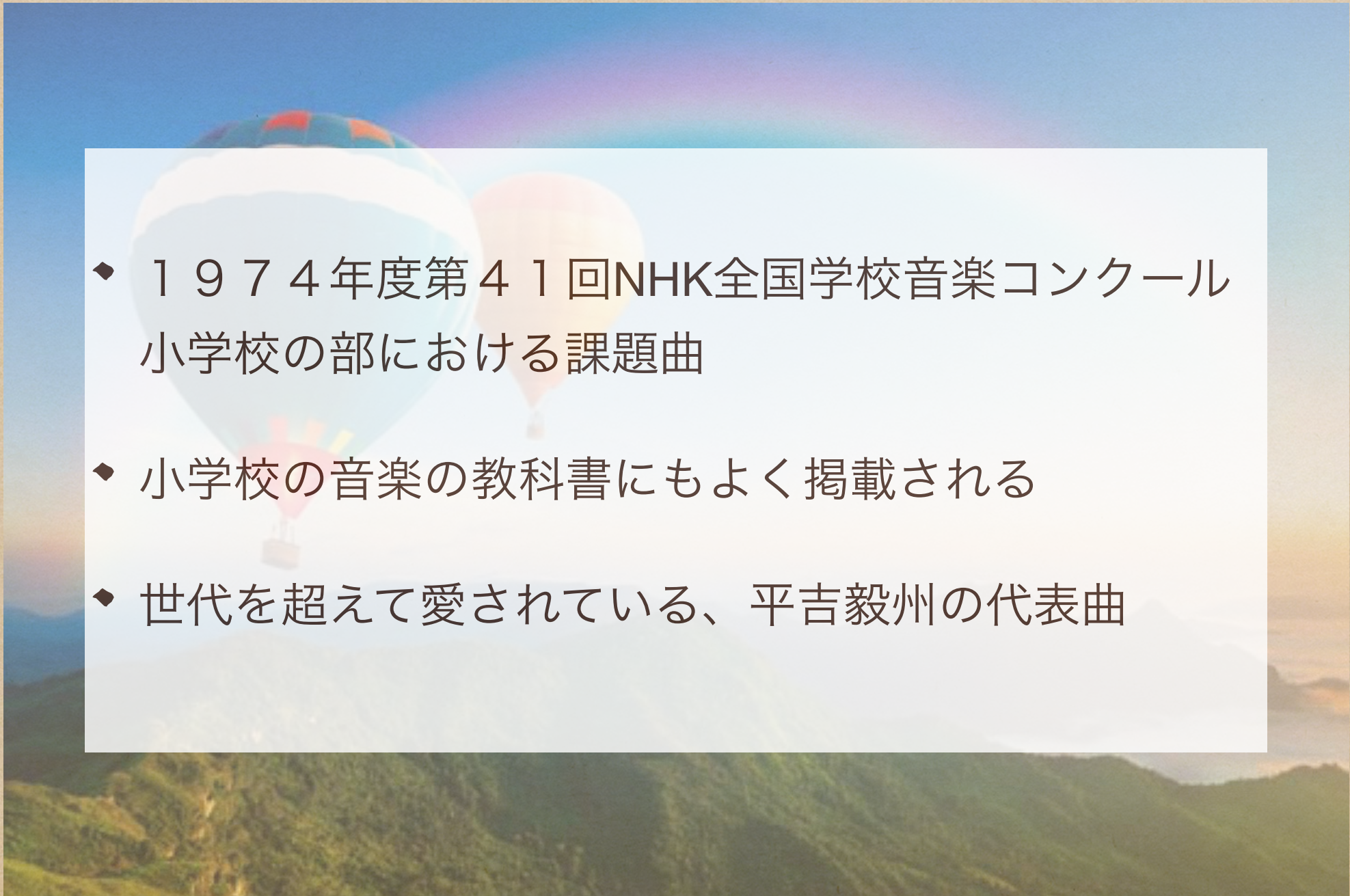


“こども達の、運動能力としてのピアノの演奏技術の習得と同時に、的確にフレーズを捏造する感覚や、柔軟なリズム感、豊かな和声感、そしてまた、ていねいな譜読みを通して作曲者の意図を鋭く観る洞察力を養うために、そして何よりも、こども達がピアノを弾くことを好きになる、ということのために、この曲集が少しでも役に立ってくれば、それは私の望外の喜びとする”

～「はじめに」より平吉毅州の言葉～

# 気球にのってどこまでも

東龍男作詞・平吉毅州作曲

- 
- ◆ 1974年度第41回NHK全国学校音楽コンクール  
小学校の部における課題曲
  - ◆ 小学校の音楽の教科書にもよく掲載される
  - ◆ 世代を超えて愛されている、平吉毅州の代表曲

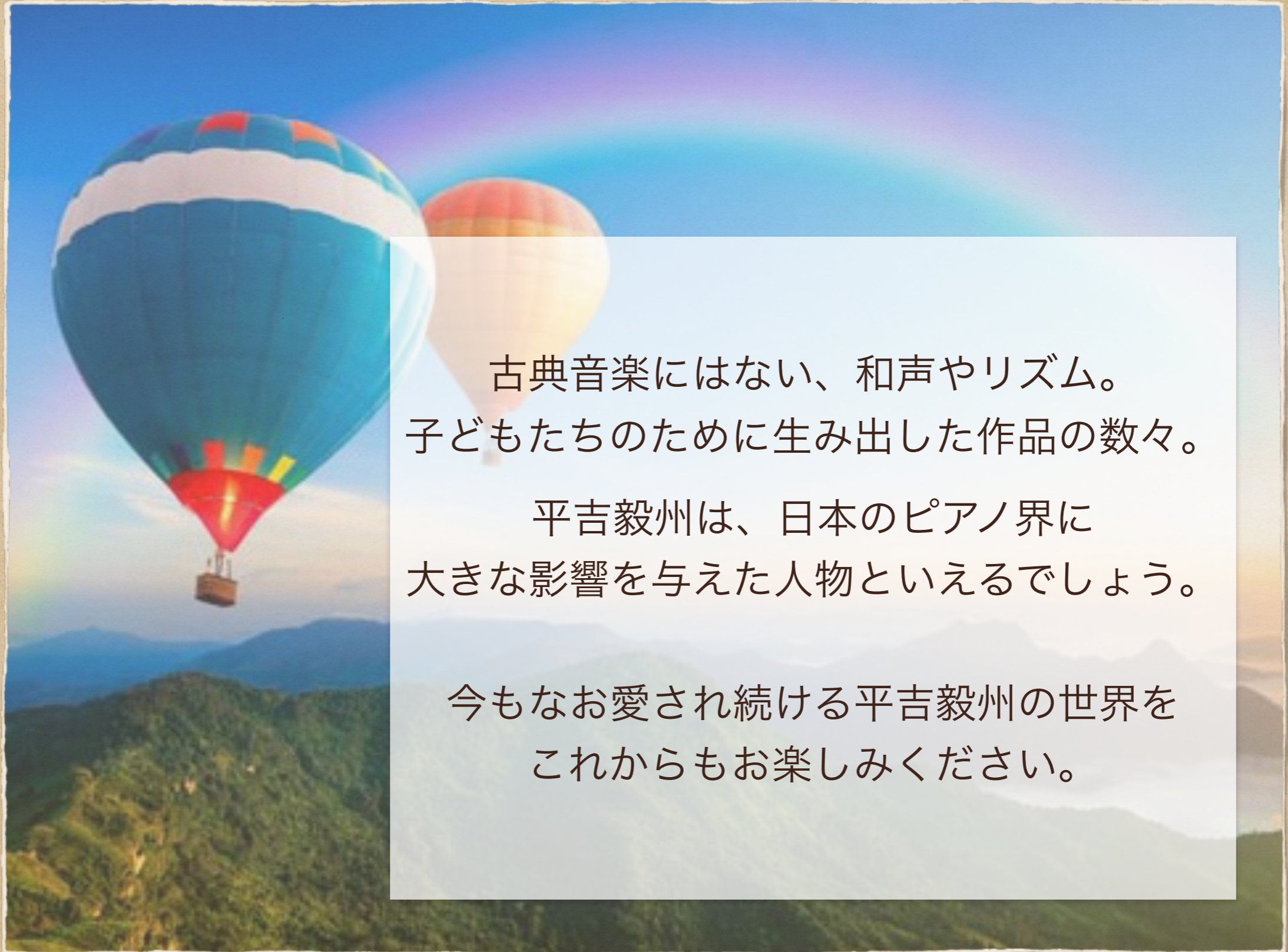
# 気球にのってどこまでも

東龍男作詞・平吉毅州作曲



時にはなぜか 大空に  
旅してみたく なるものさ  
気球にのって どこまで行こう  
風にのって 野原を越えて  
雲を飛び越え どこまでも行こう  
そこになにかが待っているから  
ラン ララン ラン ラン ラン  
ラン ラン ラン ラン...

時にはなぜか 大空に  
旅してみたく なるものさ  
気球にのって どこまで行こう  
星を越えて 宇宙をはるか  
星座の世界へ どこまでも行こう  
そこにかがやく夢があるから  
ラララ ラララララ



古典音楽にはない、和声やリズム。  
子どもたちのために生み出した作品の数々。

平吉毅州は、日本のピアノ界に  
大きな影響を与えた人物といえるでしょう。

今もなお愛され続ける平吉毅州の世界を  
これからもお楽しみください。